

日本高齢者大会inさいたま 神奈川から174人参加



第38回日本高齢者大会inさいたまは、11月11日～12日、「まちから村からの連帯で一人ぼつちの高齢者をなくそう」をメインスローガンで呼びかけ、埼玉県・大宮ソニックスティを会場に開催しました。全国からのべ2300人、神奈川から、実数で174人参加しました。

12日の全体会は、オープニングが太鼓集団「響」の若者たちの演奏に続き、全国の参加者による300人の大合唱が圧巻でした。記念講演として『戦後80年…社会保障制度をめぐるあゆみと教訓』と題して芝田英昭

**芝田英昭さんが講演
「社会保障制度をめぐるあゆみと教訓」**

さんが講演。

戦後の占領初期の対日政策として成立した旧生活保護法と日本国憲法と社会保障の関連がGHQ案にはなかった憲法25条1項が国会審議により加筆されたと指摘。その後の社会保障関連法案の成立へとつながったこと。

旧優性保護法にもふれ、優性思想に基づき特定の障害・疾患を有する人を「不良」として強制的に中絶・不妊手術を行うことを容認、

「朝日訴訟」を経て、その後の社会保障制度をめぐる変遷を話されました。

軍事でなく社会保障の充実こそ平和の道

最後に戦前回帰の政治情勢を批判し、地球上の生物の多くは環境に順応することしかで

きないが、唯一人間は自らのおかれた社会環境を作り変えることができる。

欲望のままに富を蓄積し人を殺す道具や戦争のために使うべきなのか。軍事ではなく社会保障の充実こそ、平和への道だ。地球を守る責任ある立場の人間として今一度考えよう、と締めくくりました。

高齢者と若者世代が連帯し、個人の尊厳が守られる社会を

中央実行委員会委員長の増田剛さん（全日本民医連会長）は、高市政権による大軍拡と社会保障抑制を批判し、「高齢者と若者世代が連帯して、人間としての尊厳が守られ、充実した社会をつくるために大奮闘しよう」と呼びかけました。

横浜市の「敬老パス」と地域交通網の拡充をアピール

全国の運動の交流として地域の団体からの一分間スピーチが行われました。

神奈川は、右の写真のように大きな横断幕をもって、横浜市の「敬老パス」と地域交通網の拡充を、アピールしました。

最後に来年の開催権、大阪へ大会旗が手渡されました。



神奈川県高齢期運動連絡会

輝け
高齢期

第283号

2025年12月11日

神奈川県高齢期運動連絡会

横浜市中区不老町 1-5-11-4F

TEL 045-663-4061

FAX 045-663-4062

発行者：編集委員会

神奈川として、「後期高齢者医療制度のあり方と運動」の分科会を担当



世界的にめずらしい 後期高齢者医療制度

11日は、特別企画・学習講座・分科会・見学分科会と内容も多彩で、その中で神奈川は「後期高齢者医療・制度のあり方と当事者を中心とした運動の構築をめざして」を担当し、課題山積の後期高齢者医療制度と運動の方向を話し合いました。

助言者に寺尾正之さんを迎え、特別発言として愛知、和歌山、山梨、神奈川の各社保協からこれまでの運動と課題について発言がありました。神奈川社保協の根本事務局長が神奈川のとりくみを報告。主に行政不服審査請求と今後の運動を中心に意見交換を行いました。寺尾さんは、24年前の2001年、厚生労働省が1982年度に導入された老人保健制度を抜本的に見直し、新たな高齢者医療制度の創設に向けて4つの案を提示した。

2002年9月には坂口厚労大臣(当時)の試案などが出され、2005年10月の「医療制度構造改革試案」として自民党と経団連などが提案した75歳以上の独立制度を創設する方針を示した。これを受けて法案を2008年6月参議院本会議で可決した。世界的にも珍しい75歳以上を対象にした医療保険制度が発足して今日に至っている。

この制度は、75歳以上になるとこれまで保険料負担のなかった被扶養者からも保険料が徴収されることになった。世帯構成や収入は全く変わらないのに世帯当たりの保険料負担も増加する。加えて高齢者の健康診査は市町村に実施義務があったものから、健康の保持増進が努力義務規定になった。

さらに75歳以上の人口が増えれば自動的に保険料が増えることになった。取り扱う後期高齢者医療広域連合議会の運営は形式的かつ日程も短期間、実質的な議論がほとんど行われていない。

ねらいは、大企業の税と社会保険の軽減

ねらいが、①大企業の税と社会保険の軽減すること、②医療・介護を企業の儲けの対象にしたこと、をあげ、結果的に自己責任と受益を口実に自己負担が増大した。

事実の重み集め、声出す人のすそ野広げる

政府は、後期高齢者医療制度として後期高齢者を囲い込むとともに、全国一律の政管健保を、都道府県単位の協会けんぽに分断した。いま国民は、政府による保険のきかない医療の拡大、保険外併用療養制度の導入による負担増が重くのしかかっている。政府が決めた「骨太の方針」の問題として、社会保障制度の予算を圧縮し、1兆1千万円減とした。これは医療と介護にかかる経費を削ることである実施するもの。加えて子供子育て支援金が国民に負担増として導入されるが、国民1人当たり平均月額500円と想定されている。本来、税金で賄わなければいけないのに、後期高齢者からも保険料として子ども子育て支援金を徴収するのは言語道断。等々、医療と介護制度の実態と問題を述べました。

軍拡、アメリカべったりの政策変えないと書間 富雄さん
(年金者組合鶴見支部)



私は11月11日、第1学習講座「患者窓口負担ゼロの社会保障」に参加しました。

日本の経済の矛盾がよく分かりました。社会保障の問題、私たちが頑張らないと大変なことになると思いました。

今、支配勢力は若者と高齢者の間を割こうとしています。今一番大事なのは、これからの若い人たちが大変になつていくことを若い人たちに気づいてもら

うこと。今のうちに變えていかないと大変なことになると思います。軍拡と社会保障との関連では、軍拡、アメリカべったりの政策を変えないと、アジアのなかで生きていけないこと理解できました。ありがとうございます。

大会に参加してみようと思いました。自分自身も入院などの病気になる、日本の各地から集まる全国大会などあまり参加しなかったの

が行われました。記念講演は、元立命館大学教授の芝田英昭先生でした。テーマは、「戦後80年『社会保障制度をめぐる歩みと教訓』でした。話を聞いている中、身近にある、健康保険の問題や年金の問題など、今まであまり関心がなかったのですが、入院するよう

日本高齢者大会に参加して

政治動向を見極めていくことが大切

鈴木 雅次さん
(北央医療生協)



最近、暗い話が多い中、久しぶりに全国

奏で、迫力があり元気の出る素晴らしい演奏でした。次は300人を超える大合唱で若い頃よくうたった歌で、懐かしく感動的でした。久しぶりの全国からの参加者たちの大合唱で、とても感動的な開会ゼロモニーでした。その後、開会宣言が力強くおこなわれ、主催者などからのあいさつ

な大病を患って、関心を持つようになりました。そんなわけで、健康保険のありがたみや社会保障制度について、改めて学習することができました。また、憲法や社会保障制度との関係もこの講演により、とくに、戦後から現在までの歴史と憲法の関係が、鮮明に語られました。私

たち国民もしっかり政治動向を見極めていくことが大切だということを改めて学びました。83歳になった今でも、頑張ることを再度確認しました。最後に中央実行委員会事務局長の畑中寿昭さんから来年度の高齢者大会に向けての飛躍的な発展をめざそうと、以下の3つのスローガンが確認されました。

2月6日「輝け！高齢期のつどいin藤沢」への参加すめよう！
「戦後80年 守ろう！平和と高齢者の人権」分断・対立を超えて豊かな社会へ」をテーマに、来年2月6日(金)11時から藤沢市民会館で、「輝け高齢期のつどいin藤沢」を開催します。

記念講演は、1991年に第ベストセラー「豊かさとは何か」を著した暉峻淑子さんです。講演の題は、「高齢者の人権はどうなる？」豊かな社会と人生を生き抜くために」です。日本高齢者大会でも学習講演し、大好評でした。

高齢期のつどいin藤沢では、うたごえなどの文化企画、介護学習企画なども準備しています。

多くの方の参加をお待ちしています。

第18回 輝け！高齢期かながわのつどいin藤沢

戦後80年 守ろう！平和と高齢者の人権

～分断・対立をこえて豊かな社会へ～

2026年2月6日(金) 11:00～15:30 (開場 10:30)

会場：藤沢市民会館 (JR 藤沢駅南口) ＊午後は 13:30～

午
前
の
部

オープニング・記念講演・基調報告・特別報告

記念
講演

高齢者の人権はどうなる？ ～豊かな社会と人生を生きぬくために～



てるおか いつこ

暉峻 淑子さん

埼玉大学名誉教授・経済学者

1991年「豊かさとは何か」を著してベストセラーに。居住地の練馬区でさまざまな問題を地域の人たちを話し合う「対話的研究会」を長年にわたって毎月開催。98歳を迎える暉峻淑子さんが、みなさまにお話します。

午
後
の
部

文化企画 (うたごえ合唱、腹話術ほか)

介護学習企画

*同時開催のため両方の参加はできません

資料代 500 円



個人申込の方は下記に必要事項を記入し、このチラシを FAX してください

氏名

電話

住所

団体
申込

必要枚数を申込先(主催)にご連絡ください。神奈川県民連各法人はエクセルファイルをお送りします。県連事務局担当者へメールに添付してお申込みください。チケットは現金扱いです。精算は団体ごとにチケット半券分(売上分枚数)とチケット代金(現金)の両方を主催者へお支払いください。

問合せ
申込先

輝け！高齢期かながわのつどいin藤沢 実行委員会(主催)

電話 045-663-4061 (fax 045-663-4062) (担当 伍)